

84 昭和9年1月30日 在南京日高總領事より
広田外務大臣宛(電報)
中国鉄道部より各鉄道との債務整理交渉が
欧米側とは進捗しつつあるので我が方とも同
様の交渉を開始したい旨内々に提議について

南京 1月30日後発
本省 1月31日後着

第七七號

客年十一月廿一日亞一機密合第一三四三號貴信ニ關シ
廿九日鐵道部會計長張競立ハ本官ニ對シ國有鐵路債務整理
ニ關スル鐵道部ノ方針ハ
(一)利拂ヲ單利計算トス
(二)出來得ル限り利率ヲ引下ケ
(三)元金ノ償還ヲ先ニシ利息ヲ後廻シトスルコト
ヲ原則トシ且從來ノ擔保優先權ヲ消滅セシメテ之ヲ單純ナ
ル債務ニ切替フル趣旨ヲ以テ各鐵路毎ニ交渉ヲ進メツツア
ル處英、米、白等ハ右「ライン」ニ依リ交渉ニ應シ弗々解

決ヲ見ツツアル状態ナリ(例へハ對白同成鐵道借款ノ如キ
ハ正太鐵路ノ收入ヲ擔保トセルモ今後ハ利率ヲ一切三%ニ
切下ケ別ノ收入ヲ以テ支拂フコトニ協定セリ又貴信御來示
ノ英商側ト鐵道部トノ交渉ハ事實ナルモ前記ノ如ク各鐵路
毎ニ交渉シツツアルモノナリ)故ニ日本モ此ノ際機ヲ逸セ
ス適當手段ヲ採ラレテハ如何ト考フ實ハ先般赴滬ノ際橘、
大村氏ト會談セントシタルモ果ササリシ次第ナルカ今後ハ
日本關係當業者自ラ南京ニ來リ當局ト接觸スルノ要アルヘ
キ旨内話セリ

依テ本官ハ御話ノ次第八尤モナルカ政府當局ニ於テモ日本
品ノ購入ヲ回避スルカ如キ從來ノ態度ヲ改メ日本商人ト隔
意無ク接觸セラレ度旨ヲ要望シ置キタリ
尙其ノ際張ノ内話ニ依レハ滄石鐵路ハ閻錫山カ其ノ速成ヲ
主張セル次第モアリ鐵道部ニ於テ内債ニ依リ右建設案ヲ立
テ先般之ヲ周作民ニ手交シタル赴^通ナリ
支、北平、天津ニ轉電セリ
支ヨリ上海ニ轉報アリ度シ

85 昭和9年2月19日 広田外務大臣より
在中国有吉公使宛

对中国債権者組合からの請願にも鑑み不確実
債権整理交渉再開の機運釀成方訓令

亞一機密第一六號

昭和九年貳月拾九日

外務大臣 廣田 弘毅

在中華民國

特命全權公使 有吉 明殿

對支債権整理ニ關スル件

本件交渉再開ノ機運釀成ノ要アルハ申ス迄モナキ儀ニテ先
般守島書記官赴滬ノ節御打合セシメ置キタル次第モアル處
今般對支債権者組合ヨリ別紙記載ノ如キ申出モアリ旁々右
機運釀成方此ノ上御盡力相成支那側ト開談ノ端緒ヲ得ル様
御配慮相成度尙右結果ハ隨時回電相成様致度

本信寫送付先 南京、北平

(別
紙)

對支債権者組合代表者亞細亞局長來訪ノ件

トノ趣旨ヲ述ヘタリ
本件整理促進ニ盡力方御配慮ヲ煩シタシ

右ニ對シ桑島局長ヨリ政府トシテ本件ヲ閑却シ居ル譯ニ非

ルコトヲ篤ト說示シ且御申出ノ次第ハ大臣次官ニ相談シ置

クヘキ旨述ヘタリ尙守島第一課長ヨリ本件ニ付キテハ在支

有效且有益トハ考ヘラレサルコト又(四)研究會ノ組織ニ付キ

テハ債權者ノミニテ話ヲ進ムルコトハ面白カラス又研究會

ヲ設クルノ可否ニ付テハ暫ク意見ヲ留保スヘキモ政府同意

ノ下ニ若シ之ヲ開催スル場合ニ於テモ政府指導ノ下ニ行ハ

ルヲ要スヘキ旨說示セル處兩人ハ之ヲ諒承シテ引取りタリ

~~~~~

86 昭和九年3月6日 広田外務大臣より

在中国有吉公使宛

膠濟鐵道國庫證券償還阻止の觀点から作成し

た对中国不確實債權整理に関する方策案に留

意の上至急中國側に整理交渉再開要求方訓令

亞一機密第二五號

昭和九年三月六日

外務大臣 広田 弘毅

ト共ニ其ノ旨當方へ電報アリ度同總領事ニ對シテハ事  
態ノ進展ニ伴ヒ隨時必要ノ指圖ヲナス等ニテ其ノ都度右  
貴方ヘモ轉報スヘシ又在南京總領事ニ對シテハ別添本信  
寫二部内一部ヲ貴方ヨリ御轉達相成度

(左記)

(一)本件對支要求(即チ別紙試案(乙)ノ(一)(イ)(A)(B)(C)ノ要求)  
ハ將來該試案ノ全部又ハ一部ヲ實施スル場合ノ發足點ト  
ナルモノナル處右發足點ヲ明確ナラシムル爲口頭ヲ以テ  
折衝スルニ止ラス書面ヲ以テ申入レ置クコト可然

(二)不確實債權整理方ヲ要求スル書面ニハ不確實債權整理問  
題ノ從來ノ經緯ヲ相當詳細ニ記述シ該問題ノ停頓カ專ラ  
支那側ノ理由ニ依ルモノナルコト明ニスルコト可然

(三)從來我方ヨリ支那側ニ對シ青島公有財產及製鹽業國庫證  
券ノ元利支拂方乃至同證券ノ追加擔保提供(山東懸案細  
目協定第二十條ノ四、第一項)方又ハ他ノ財源充當方(同  
條ノ五)ヲ要求シタルコトハ殆ト無之次第ナリ

在中華民國

特命全權公使 有吉 明殿

膠濟鐵道國庫證券問題ニ關聯シ對支不確實債權  
整理問題促進方ニ關スル件

對支不確實債權整理問題ニ關聯シ本年二月十九日附拙信亞一  
機密第一六號ヲ以テ訓令シ置キタル次第アル處膠濟鐵道國  
庫證券問題ニ關聯シ右不確實債權整理問題促進方ニ付當方  
ニ於テ一應別紙試案ヲ作成セリ然ルニ該案ノ全部又ハ一部  
ヲ實施スヘキヤ否ヤ又實施スルトスルモ其ノ運用ヲ如何ニ  
スヘキヤ等ハ今後ニ於ケル各般ノ事態ニモ充分考量ヲ加ヘ  
慎重研究ノ上決スルコトヲ要スル次第ナルカ右何レニ決ス  
ルトスルモ差當リ兔ニ角試案(乙)ノ(イ)ノ措置丈ヶハ取急  
キ執り置クコト肝要ナルニ付左記(一)乃至(三)御參照ノ上出來  
得ル限り最近ノ機會ニ措置方御取計相成且成行隨時御回示  
アリ度又右様措置後ニ於ケル試案ノ全部又ハ一部實施ニ關  
シ御意見隨時御稟申相成様致度此段申進ス

追テ本訓令ノ次第ハ未夕在青島總領事ニハ「インフオーム」シアラサル處(但シ極メテ確實ナル幸便アル場合ニハ  
別添本信寫二部ノ内一部ヲ貴方ヨリ青島ニ御托送相成ル

膠濟鐵道國庫證券問題ニ關聯シ對支不確實債權  
整理問題促進ノ必要ニ關スル件

(昭和九、三、一、試案)

不確實債權整理ニ關スル對支交渉ハ滿洲事變前後ヨリ停頓  
ノ儘最近ニ及ヒ居ル處今回在支公使ニ對シ右交渉再開ノ機  
運ヲ釀成スヘキ旨訓令相成リタル次第アリ然ルニ膠濟鐵道  
國庫證券問題ノ關係上此ノ際右不確實債權整理就中青島公  
有財產及製鹽業國庫證券ノ追加擔保又ハ追加財源ニ關スル  
對支交渉ニ至急着手スルノ要アリ、今左ニ(甲)膠濟鐵道國庫  
證券問題ノ經緯及同問題ノ關係上債權整理問題ヲ促進スル  
ノ肝要ナル所以及(乙)我方ノ執ルヘキ措置振ニ付記載スヘシ  
(甲)膠濟鐵道國庫證券問題ノ經緯及同問題ノ關係上不確實債  
權整理問題ヲ促進スルノ肝要ナル所以

(一)膠濟鐵道國庫證券(四千萬圓)ハ一九三七年未ヲ以テ満期  
トナル處我方トシテハ其ノ償還ヲ實現セサラシムル様措  
置スルコト肝要ナリ

(二)從テ支那側カ愈々右償還ヲナサムトスル場合ニハ我方ハ  
山東懸案解決條約附屬了解事項第八及山東鐵道細目協定  
第九條等ヲ出來得ル限り廣義ニ援用シ之カ阻止ヲ計ルヘ

(三)又支那側カ此等規定ニ抵觸セサル方法ニ依リ償還セムト  
スル場合窮局<sup>(極カ)</sup>ノ方法トシテハ(イ)我對支債權ノ殆ト全部カ  
不履行トナリ居ルニ際シ本件證券ノミヲ償還セムトスル  
モ受理シ難シト主張シ又ハ(四)山東懸案解決條約第十五條  
等ヲ援用シ本件證券ノ全部又ハ少ク共其ノ一部(金貨麻  
克相當部分)ノ金貨拂ヲ要求スル等ニ依リ右償還阻止方  
ヲ計ルコトヲ考慮シ得ヘシ然レトモ此等萬已ムヲ得サル  
場合ノ措置ハ對支關係全般ニ及ホスヘキ其ノ影響ニモ顧  
ミ出來得ル限り之ヲ避ケルヲ要スル次第ナリ

(四)依テ我方トシテハ證券満期ニ至ル迄ノ約四年ノ期間ヲ利  
用シテ支那側カ證券期限ノ延長ヲ我方ニ求メ來ル様誘導  
シ(其ノ他成ル可ク角立タサル方法ニ依リ)償還阻止ノ目  
的ヲ達成スルコトヲ主眼トシ種々施策ノ要アリ

(五)然ルニ本件ニ關シ當面ノ問題トシテ緊急處理ノ要アルモ  
ノアリ、即チ膠濟鐵路側ニテハ目下三百萬元前後ノ剩餘  
金ヲ有シ居リ而シテ近ク右剩餘金ヲ山東懸案解決條約第  
十八條ニ基ク本件證券元金一部内拂トシテ我方ニ償還セ  
ムトスルノ議アルヤノ趣ナル處(且今後年々二百萬元位

ノ剩餘金ヲ生スヘキ見込ノ由)該内拂ノ取扱如何ハ本件  
證券全額償還ノ問題ト緊密ナル關係アルヲ以テ慎重考慮  
ノ要アリ、殊ニ我方ニ於テ右内拂ヲ其ノ儘受理スルニ於  
テハ將來前掲(二)(イ)乃至(四)ノ方法ヲ執ルノ必要生スル場  
合我方ノ立場ヲ極メテ困難ナラシムヘシ

(六)仍テ支那側ヲシテ差當リ前記剩餘金ヲ本件證券元金ノ内  
拂ニ充當スルコトナク他ノ用途ニ使用セシムル様可然指  
導シ以テ前掲(四)證券満期ニ至ル迄ノ施策ニ便ナラシムル  
コト肝要ナリ(右見地ニ基キ目下我方ニ於テハ現存剩餘  
金ヲ博山支線ノ買收改築ニ使用セシムル様非公式ニ指導  
ヲ試ミツツアリ)

(七)右指導ニ拘ラス支那側カ剩餘金ヲ元金内拂ニ充當セムト  
スルコトアルヘキ處其ノ際ニハ我方ハ山東細目協定第二  
十條ノ四第一項ニ基ク青島公有財產及製鹽業國庫證券  
(千四百萬圓ナルカ現在ニテハ延滯利子ヲ加算シ二千萬  
圓以上トナリ居レリ)ノ追加擔保トシテ又ハ同條ノ五ニ  
基ク他ノ財源トシテ山東鐵道收入ヲ提供スヘキコトヲ要  
求シ以テ前記剩餘金ノ元金内拂充當ヲ阻止スルニ努ムル  
コト策ノ得タルモノナリ

(八)但シ愈々支那側ヨリ右剩餘金ノ元金内拂充當方申出アリ  
タル上我方ヨリ公有財產國庫證券ノ追加擔保提供方等ヲ  
要求スルハ如何ニモ唐突ニテ面白カラサルニ付豫メ適當  
ノ措置ヲ講シ置キ以テ右要求ヲ效果的ナラシムルコト肝  
要ナリ、此等委細ノ點ハ後掲(二)ニ記載スヘシ

(九)我方ノ執ルヘキ措置

(一)近ク支那側ヨリ膠濟鐵路剩餘金ヲ膠濟鐵道國庫證券元金  
内拂ニ充當スヘキ旨申出テ來ラサルヲ保セサルニ顧ミ此  
ノ際出來得ル限り速カニ在支公使館ヨリ國民政府ニ對シ  
左記措置ヲ執ルコト

(二)(A)不確實債權ノ整理方ヲ要求シタル上(B)一轉シテ青島  
公有財產及製鹽業國庫證券ノ元利支拂方ヲ不確實債權  
整理問題中ノ特殊問題トシテ(山東懸案細目協定第二  
十條ノ四第二項参照)要求シ(C)而シテ支那側之ニ應セ  
サル上ハ(必スヤ之ニ應セサルヘシ)追加擔保提供方  
(同條ノ四第一項)又ハ他ノ財源充當方(同條ノ五)ヲ要  
求スルコト

但シ狀況ニ依リテハ當初ヨリ公有財產國庫證券問題ノ  
ミヲ「シングルアウト」シ支那側ニ要求スルコト不可

ナキモ成ル可ク前項ノ如キ順序ヲ踏ム方態トシカラス  
却テ效果的ナルヘシ

(二)更ニ適當ノ時機ヲ見テ山東鐵道收入ヲ右追加擔保乃至  
所謂他ノ財源ニ充ツヘキ旨要求スルコト

(三)支那側ヨリ剩餘金ノ鐵道國庫證券元金内拂充當方ヲ愈々  
申出テ來ル場合又ハ右以前ニ於テモ適當ノ機會ト認メラ  
ル際ニハ在支公使館ヨリ國民政府側ニ對シ又ハ在青島  
總領事館ヨリ膠濟鐵路側ニ對シ左記ノ措置ヲ執ルコト

(四)我方ニ於テハ鐵道國庫證券ノ償還ニ重キヲ置キ居ルモ  
ノナルカ一方公有財產國庫證券ノ元利償還ニモ重キヲ  
置キ居リ既ニ國民政府ニ對シ公有財產國庫證券問題ヲ  
提起セル次第ナル處一体支那側ニテハ鐵道國庫證券元  
金ノ一部内拂ノミナラス一九三七年未ニ於ケル全額ノ  
償還ニ付テハ如何ナル計畫ヲ有スル次第ナリヤヲ問質  
シタル上右ニ對スル先方ノ應酬振ニ應シテ我方ニ有利  
ナル事態ヲ誘致スル様可然措置スルコト

(五)右ニ拘ラス先方ニテ内拂ヲ强行セムトスル場合ニハ我  
方ニ於テハ公有財產國庫證券問題ノ目鼻付カサル限り  
内拂ヲ受理シ得サル旨ヲ以テ之ニ對スルコト

(三) 紋上(一)及(二)ノ措置ヲ執リタル上必要ニ應シ我方トシテハ此ノ際(即チ本件證券全額償還ノ問題起ラサル以前)更ニ支那側ニ對シ前掲(甲)(三)(一)(四)等ノ主張ヲ援用スヘキヤ又ハ其ノ他ノ態度ヲ執ルヘキヤハ更ニ研究ノ上決定スルコト

ト

~~~~~

87 昭和9年3月19日 在南京須磨總領事より
広田外務大臣宛(電報)

我が方債権者組合からの整理要求に関し返済困難な中国側実情を唐有壬など内話について

支宛貴電第七一號ニ關シ
第二二八號
支宛貴電第七一號ニ關シ
七日本官唐有壬ト面會ノ際唐ヨリ東京方面ヨリ非公式ニ對
支債權整理方ニ付債權團ノ申出アリタル旨内報ヲ受ケタル
カ今ノ所右ノ如キ申出ニ對シ考慮ヲ加フルコト不可能ナリ
トテ二月二十九日附亞一機密第一六號ト略同趣旨ノ話ヲ爲
シ居タルカ十九日他用ヲ以テ面會ノ際徐謨ヨリモ數日前蔣

南京 3月19日後発

本省 3月19日後着

南京 3月28日後発

本省 3月28日後着

88 昭和9年3月28日 在南京須磨總領事より
広田外務大臣宛(電報)

中國交通部より中日実業および東亜興業關係
債務の整理交渉開始方提議について

南京 3月28日後発

本省 3月28日後着

南京 3月28日後発

本省 3月28日後着

第二六六號(至急)

本廿八日交通部郭參事ハ朱家驛ノ命ヲ受ケタル趣ヲ以テ本
官ヲ來訪シ

「、部長ニ於テハ交通部借款ノ全部ヲ漸次整理ノ目鼻ヲ付ケ
度所存ニテ貴官新任ノ機會ニ於テ殊ニ中日實業及東亞興
業關係ノ借款ヲ整理スル目的ヲ以テ種々考慮ノ結果最近

シ成立セシタルニ見習ヒ交通部モ大體此ノ種「フォーミュラ」ニ依リ右兩債務ヲ整理シ度希望ヲ有スル處右ニ

對シ貴方ノ盡力ヲ願度ト同時ニ貴官御見込ヲ承知致度ト

申出タルニ依リ

(2) 本官ヨリ日本側ハ先ツ不確實債權整理ノ交渉再開ヲ期シ
居ル次第ナレハ自然或特定債權ノ整理ハ一時ニ解決出來
レハ兎モ角生ナマカ中ノ姑息方法ニテ之ヲ取扱フハ餘程考物ト
思考セラルル譯合ナレハ御申出ノ「フォーミュラ」ニ付
テハ篤ト研究スルコト致ス可シト簡單ニ應酬シ置キタ
リ

三、郭カ突然本件ヲ持出シ來レル眞意ハ不明ナルモ目下無線

及航空聯絡ノ問題引懸リ居ルノミナラス膠濟鐵道國庫證
券内拂問題ノ關係モアリ本件應酬振ニ付テハ餘程注意ノ

公使ヨリノ正式報告ニ接シタルカ右ニ對シテハ何レ考慮ヲ拂フヘキ旨簡單ニ返事シ置ク積リナルカ何シロ大問題ニテ今ノ所見當着キ難キ次第ナレハ新聞等ニ餘り書立テラルレハ種々支障ヲ來スヘキニ付其ノ邊手加減アリ度シト申シ居タリ

支、北平へ轉電セリ

~~~~~

昭和9年4月5日 在中国有吉公使宛(電報)

中國交通部より中日実業および東亜興業關係  
債務の整理交渉開始方提議について

南京 4月5日後発

本省 4月5日後着

南京 4月5日後発

本省 4月5日後着

第二六六號(至急)

本廿八日交通部郭參事ハ朱家驛ノ命ヲ受ケタル趣ヲ以テ本  
官ヲ來訪シ

「、部長ニ於テハ交通部借款ノ全部ヲ漸次整理ノ目鼻ヲ付ケ  
度所存ニテ貴官新任ノ機會ニ於テ殊ニ中日實業及東亞興  
業關係ノ借款ヲ整理スル目的ヲ以テ種々考慮ノ結果最近

シ成立セシタルニ見習ヒ交通部モ大體此ノ種「フォーミュラ」ニ依リ右兩債務ヲ整理シ度希望ヲ有スル處右ニ

對シ貴方ノ盡力ヲ願度ト同時ニ貴官御見込ヲ承知致度ト

申出タルニ依リ

要アリト思考セラルル處先方ヨリ申出テ來レル儀ニモア  
リ我方ノ不確實債權全體ニ對スル態度ヲ徹底セシムルト  
同時ニ場合ニ依リテハ個別的決済ニモ冷淡ナラサルヤノ  
「インプレツション」ヲ與フルコト然ルヘキヤニ思考セ  
ラルルニ付テハ本件此ノ上ノ應酬振ニ付至急御回訓相成  
度シ

支、北平、青島へ轉電セリ

89 昭和9年4月5日 在中国有吉公使宛(電報)

交通部關係債權整理に關し特定債權の個別的  
整理にも条件により応じる方針で対処方訓令

別電 四月五日發広田外務大臣より在中国有吉公使  
宛第九二号

特定債權の個別的整理に際し全般的整理を回  
避する口実を与えないよう注意方等訓令

本省 4月5日後9時20分發

(欄外記入一)  
第九一號(極秘級)  
南京發本大臣宛電報第二六六號ニ關シ

(欄外記入二) 當方ノ意嚮ハ別電第九二號ノ通ナルカ尙貴方ニ於テ三月六日附往信亞一機密第二五號トノ關係(手順ノ前後、其ノ他)等ニ付充分考慮ヲ加ヘラレタル上須磨總領事指導方御配慮相成度

別電ト共ニ南京、北平、青島へ轉電セリ

(欄外記入一) 一般債務整理ノ場合ニ滿洲國ノ負担ヲ相當トスル部分割合承知シ度シ

(欄外記入二) 一應上局ノ御閱覽ヲ願ヒタル上大藏省ト協議スヘシ

(別 電) 本省 4月5日後11時20分発

第九二號(極秘扱)

一、對支不確實債權ノ全般的整理交渉再開方要求ト共ニ條件如何ニ依リテハ特定債權ノ個別的整理ニモ冷淡ナラサル態度ヲ示シ置クハ前者ニ對スル我方ノ關心ヲ支那側ニ印象セシムルカ爲ニモ望マシキ次第ニテ交通部ニ於テ眞ニ

三、但特定債務ノ個別的整理交渉ノ爲全般的整理ヲ回避スル口實ヲ與フルカ如キコトナキ様注意ノ要アルハ勿論ニシテ大体論トシテハ政府間ニハ主トシテ全般的整理ノ交渉ヲ進メ個別的整理ニ付キテハ直接ニハ債權者ニ於テ支那側ト交渉シ外務省側ハ側面ヨリ援助スル建前ヲ採ルコト然ルヘシト思考シ居レリ(但政府カ直接債權者タル公有財產國庫證券等ニ付キテハ別ナリ)

モノナルヲ要スルコト勿論ニシテ且一ノ債權ニ付財源ノ如何、債權者ノ都合等ニ依リ比較的寛大ナル整理案成立スルモノ之ヲ以テ他ノ債權ノ整理ノ例トナサシメサル様注意ノ要アルヘシ尙平緩鐵路局ノ米商關係ノ整理方法ノ如キモノニテハ本邦債權者ハ喰付カサルヘク現ニ目下同局ト交渉中ナル東亞側ニ於テモ右方法其ノ儘ニテハ到底受諾ノ意思ナク(本大臣發北平宛往電第一七四號ノ(3)參照)又中日側モ東亞側ト共ニ今次交通部申出程度ノ「フオーナリ

ミユラ」ニハ誘惑ヲ感シ居ラサル實情ナリ

四、又中日ノ電話借款及東亞ノ電信借款ハ何レモ其ノ擔保物ノ關係上其ノ一部ハ滿洲國ニ於テ負擔スルヲ要スルヤニモ認メラレ從テ右兩借款ニ關シ滿洲國分擔分ノ問題ヲ「インボオルブ」スル惧アルニ付取扱振ニ注意ヲ要スヘシ(本項極秘)

90 昭和9年4月6日 広田外務大臣より

在中國有吉公使宛(電報)

平緩鐵道債權整理交渉のため訪中する東亞興業常務に対し交通部関係債權整理への対応など注意について

本省 4月6日後10時発

第九六號

(一)(イ)平緩鐵路債務整理問題ハ北平發本大臣宛電報第一〇〇號ニ依リ續借優先權問題ノ見据モ大体付キタルヤニ認メラルヲ以テ東亞側ニテハ債權銀行團及三井側トモ協議ノ上整理條件ニ關スル對案ヲ作成シ内田自ラ上海(十一日着)ニ赴キ近ク南下ノ筈ナル平緩鐵路局長ト交

(二)三月六日附往信第二五號ノ件切角御配慮中トハ存スルモ其ノ後ノ措置振回電アリ度シ(當方トシテハ本電(一)ノ關係モアリ少クトモ右往信(2)ノ(1)(A)全般的債務整理交渉再開方要求ノ措置タケハ成ル可ク速カニ採り置クコト望マシキヤニ存シ居レリ)

北平、南京へ轉電セリ

不確実債権整理交渉の再開ならびに青島公有財産等補償國庫証券の延滞元利金支払いを求める外交部長宛公文の送付について

機密公第一四五號

(4月13日接受)

昭和九年四月六日

在中華民國

特命全權公使 有吉 明(印)

外務大臣 廣田 弘毅殿

昭和九年四月六日附在南京須磨一等書記官宛機密公第一三號信寫送付

對支不確實債務整理ニ關スル件

機密公第一一三號

昭和九年四月六日

在中華民國

特命全權公使 有吉 明

在南京

對支不確實債務整理ニ關スル件  
機密公第一一三號

昭和九年四月六日

在中華民國

特命全權公使 有吉 明

在南京

以書翰啓上致候。陳者、帝國政府及臣民ノ貴國ニ對スル各種債権ノ保護特ニ無擔保及擔保不確實債権ノ確保ニ關シテハ帝國政府ニ於テ常ニ深甚ナル考慮ヲ加ヘ機會アル毎ニ貴國政府ニ對シ整理ノ必要ヲ力説シ其ノ促進ニ努メ來レル次第ナル處、曩ニ大正十四年乃至十五年北平ニ於テ開催セラレタル支那關稅特別會議ハ關稅附加稅支途問題ニ關聯シ無擔保及擔保不確實債務ノ整理ヲ最重要問題トシテ該會議第二委員會ニ於テ公式ニ討議ヲ行ヒ債務整理關係國タル八國代表非公式會議ヲ開キ日支ヲ含ム主要關係國ノ整理原則ニ關スル提案ヲ討議シ慎重審議ヲ重ヌタル結果主要事項ニ關シ一應ノ決定ニ達シタルモ貴國政局ノ變動ニ因リ該會議ノ

外第一三號

昭和九年三月六日附大臣發本使宛公信亞一機密第二五號ニ關シ外交部長宛公文茲ニ送付スルニ付右轉達方可然御取計相成度シ

本信寫送付先 大臣 青島

中止ヲ見タル結果本件整理ニ關シテモ最後的決定ニ至ラサリシ次第ナリ、其ノ後昭和四年貴國暫行關稅率實施ニ際シ王外交部長ハ同年一月十八日附公文ヲ以テ堀臨時代理公使ニ對シ貴國政府ハ無擔保及不確實擔保ノ債務整理ニ關シ同一年一月四日第十四次國務會議ニ於テ每年關稅新收入額中ヨリ五百萬元ヲ支出シ内外債務ノ整理ニ充ツヘキコト及政府ニ於テ内外債委員會ヲ設立シ專ラ整理ノ責ニ任セシムヘキコトヲ議決シタル旨並左ノ如キ辦法ヲ定メ切實ニ實行スルノ準備ヲ有スル旨御通知ノ次第有之候。

一、毎年新稅率ニ依ル増加稅收額中ヨリ少クトモ五百萬元(此ノ額ハ增加スルコトヲ得)ヲ支出ス

二、第一項ノ詳細ナル辦法ハ貴國政府ニ於テ最短期間ニ債權者代表會議ヲ召集シ之ヲ討議ス

三、第二項ノ會議ノ速カナル解決ヲ促進スル爲北京關稅特別會議ノ討議ニ對シ正當ナル考量ヲ加フヘシ

前記王外交部長公文中ノ整理辦法第一項及第二項ハ其ノ後昭和五年五月六日調印セラレタル日支關稅協定第四附屬書ニ依リ再確認セラレ同時ニ貴國政府ハ本邦債權者ニ支拂ハルヘキ無擔保及不確實擔保ノ債務ノ多數多額ナルニ鑑ミ右

債務ノ迅速ナル整理ノ爲債權者代表ノ會議ヲ十月一日又ハ同日以前ニ招集スヘキコト及關稅收入額ヨリ既ニ毎年五百萬元ノ額ノ積立ヲ開始セルコトヲ確認セラレ候。

前記日支關稅協定調印ニ引續キ本邦債權者代表重光臨時代理公使ト貴國宋財政部長トノ間ニ債務整理ニ關スル豫備商議ヲ開始シ之ト並行シテ全年九月末ヨリ日支專門家非公式會議ヲ行ヒ具体的的討議ニ入りタル次第ナル處、一方列國債權者代表會議ハ全年十一月十五日南京ニ於テ開催セラレ貴國代表ヨリ債務整理大綱ヲ提示スルト共ニ成ル可ク公正妥當ナル結果ニ到達スル様交渉ヲ進メ度希望ヲ述ヘ非公式ノ交渉ヲ各國別若ハ全体的ニ進ムルコト致シ度旨ヲ提議セラレ之ニ基キ前記兩國間ノ審議ヲ續行シタルカ本件交渉ハ貴國側ノ都合ニ依リ昭和六年以後停頓シタル儘未タ再開ノ運ニ至ラサル次第ニ有之候。帝國政府ノ債務整理ニ對スル關心ハ本件交渉停頓後ト雖モ何等渝ル所ナク本邦債權者ノ貴國關係當局ニ對スル個別的折衝ニ對シテハ常ニ深甚ナル注意ト考慮ヲ加ヘ之力誘導ニ努メ來リタル次第ナル處帝國政府トシテハ貴國政府ニ於テ最近諸外國ニ對スル不確實債務ノ整理ノ爲各國代表者トノ間ニ交渉ヲ進メラレ居ル事情

ニモ鑑ミ帝國政府及臣民ニ對スル債務ニ付テモ前記從來ノ交渉ヲ再開シ其ノ一般的整理方ニ付速ニ具体案ヲ決定實行セラレムコトヲ茲ニ要求致候。

將又帝國政府ハ其ノ貴國政府ニ對シテ有スル債權ノ整理ヲ頗ル重要視シ之ニ關シテハ機會アル毎ニ商議ヲ促進スルノ方針ヲ持シテ今日ニ迨ヒタル處就中山東懸案解決ニ關スル條約第六條及第二十五條ニ基ク青島公有財產及製鹽業補償日金國庫證券ノ延滯元利金ノ支拂ニ關シ貴國政府ニ於テ速カニ適切ナル辨法ヲ提示セラレムコトヲ希望スルモノニ有之、本國庫證券ハ青島ニ於ケル公有財產及本邦人經營製鹽業引渡ニ對スル補償トシテ貴國政府カ條約上支拂義務ヲ受諾シタルモノニシテ該債權ノ保全方ニ關シテハ山東懸案細目協定第十八條乃至第二十條ニ詳細規定アリ殊ニ第二十條第四項ニ於テ貴國政府カ將來其ノ外債ヲ整理スル場合ニハ本國庫證券ヲ第一次ノ機會ニ於テ外債整理案中ニ含マシムヘキ旨ヲ規定シ其ノ特殊的性質ヲ強調シ居ル次第ナル處、本證券ノ元利支拂ハ大正十五年九月二十五日附ノ支拂ヲ最後トシテ延滯ヲ重ネ帝國政府ハ屢次之カ支拂方督促スル所アリ曩ニ芳澤公使ハ大正十五年五月三日附公文ヲ以テ貴國

此段申進旁本使ハ茲ニ重テ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候。敬具。

昭和九年四月七日

國民政府外交部長 汪兆銘殿

日本帝國特命全權公使 有吉 明

加ヘラレタルヲ以テ在上海帝國總領事ハ貴國財政部當局ニ對シ再三注意ヲ喚起シ交渉ヲ重ねタルモ何等滿足ナル結果ニ到達セサリシ次第ナリ、其ノ後昭和四年九月十八日附ヲ以テ貴國財政部ハ鹽稅一千萬元制度ノ實績舉ルニ至リタルヲ以テ政府ハ鹽稅剩餘ヲ擔保トスル各借款ノ逐次償還計畫ヲ有スル旨發表セラレ當時宋財政部長モ在上海重光總領事ニ對シ一般鹽餘借款ニ對スル考慮方ヲ確約セラレタルカ昭和五年中一般債務整理ニ關スル日支豫備商議開始セラレタル結果本證券整理問題モ自然該商議ニ包括討議セラルルニ至レル處、日支債務整理交渉ハ前記ノ如ク貴國側ノ都合ニ依リ停頓ノ儘トナリ居ル今日帝國政府ハ前述ノ事情ニ基キ本證券ノ元利金ノ支拂ヲ特ニ重要視スルモノナルヲ以テ貴國政府ニ於テ速ニ右支拂ヲ實行セラレムコトヲ要求致候。右ニ關シテハ前記一般的債務整理ノ件ト共ニ至急何分ノ儀御回答相成度

頗ル重要視シ之ニ關シテハ機會アル毎ニ商議ヲ促進スルノ方針ヲ持シテ今日ニ迨ヒタル處就中山東懸案解決ニ關スル條約第六條及第二十五條ニ基ク青島公有財產及製鹽業補償日金國庫證券ノ延滯元利金ノ支拂ニ關シ貴國政府ニ於テ速カニ適切ナル辨法ヲ提示セラレムコトヲ希望スルモノニ有之、本國庫證券ハ青島ニ於ケル公有財產及本邦人經營製鹽業引渡ニ對スル補償トシテ貴國政府カ條約上支拂義務ヲ受諾シタルモノニシテ該債權ノ保全方ニ關シテハ山東懸案細目協定第十八條乃至第二十條ニ詳細規定アリ殊ニ第二十條第四項ニ於テ貴國政府カ將來其ノ外債ヲ整理スル場合ニハ本國庫證券ヲ第一次ノ機會ニ於テ外債整理案中ニ含マシムヘキ旨ヲ規定シ其ノ特殊的性質ヲ強調シ居ル次第ナル處、本證券ノ元利支拂ハ大正十五年九月二十五日附ノ支拂ヲ最後トシテ延滯ヲ重ネ帝國政府ハ屢次之カ支拂方督促スル所アリ曩ニ芳澤公使ハ大正十五年五月三日附公文ヲ以テ貴國

財政部ニ對シ元利ノ迅速ナル支拂、他ノ適當ナル擔保ノ選定並延滯利息ノ利率引上ノ各項ニ付嚴重申入レ其ノ後在支本證券ノ元利支拂ニ對シ迅速適切ナル方法ヲ講スルト共ニ關稅剩餘ヲ擔保トスル既存債權ノ優先順位ニ付テハ當然本證券ニ對シ公正ナル考慮ヲ加ヘラレ度旨申入レ貴國財政部ハ昭和二年一月十二日附書翰ヲ以テ本國庫證券ハ既ニ整理案中ニ繰入レ處分スルコトニ決定シ居リ尙將來若シ關稅剩餘ヲ以テ擔保トスル各種債權ノ優先順位ニ付討議スルコトアル場合ハ自ラ公正ナル辨法ヲ以テ措置方考慮スヘキ旨回答セラレタル經緯アリ、然ルニ貴國政府ハ昭和三年九月鹽務制度ノ改革ヲ斷行シ所謂鹽稅一千萬元制度ヲ確立スルト共ニ全年十一月十七日附ヲ以テ鹽務稽核所ハ引續キ鹽稅全部ノ徵收ヲ行フモ財政部カ借款支拂ニ充當スルモノ以外ハ鹽稅收入ノ保管ヲナサス財政部長ハ借款支拂方措置スルノ全責任ヲ負フヘキ旨發表セラレタルカ鹽務稽核所ノ權限縮少ノ結果本國庫證券ハ條約上關稅剩餘及鹽稅剩餘ノ外其ノ他適當ナル擔保ヲ充ツルコトトナリ居ルモ實際上ノ支拂ハ當初ヨリ鹽稅剩餘ヲ以テセラレ居リシカ爲重大ナル損害ヲ

92 昭和9年4月23日 在中國有吉公使より  
廣田外務大臣宛(電報)

鐵道建設公債条例の發布に対する中國銀行家および在中國英國商務參事官などの反応について

上海 4月23日後發  
本省 4月23日後發

第三三八號

一、二十一日發表(二十日立法院ヲ通過)セラタル民國二十三年第一回鐵道建設條例ニ關シ

二十三日陳介ハ大村ニ對シ本件ニ付テハ政府ヨリ銀行側ニ未夕何等申出ナキモ元來問題ノ玉萍鐵道及剿匪ノ必要ハ兎モ角到底「ペイ」スル見込ナキノミナラス全國鐵道ノ利益ト云フモ夫ハ極メテ不確實ナルモノナレハ之ヲ擔保トスル借款ハ銀行家トシテ到底應シ難カル可シト内話シ居タル趣ナリ

三、同日英國「ビール」及白耳義公使「ギオム」ハ來滬中ノ須磨ニ對シ本件鐵道内債ノ發行ハ鐵道債權者ノ權利ヲ毀損スルモノニシテ此ノ儘無視シ難キ旨(特ニ「ビ」ハ英國トシテハ強ク抗議スル必要アル可シト述ヘ居タリ)ヲ述

～居タル趣ナリ

北平、天津、青島、南京へ轉電セリ

93 昭和9年4月26日 在中國堀内臨時代理公使宛(電報)

鉄道建設公債条例は鉄道収益を償還資金とし

我が方鉄道債権への影響が懸念されるため權

益保全を中國側に注意喚起方訓令

本省 4月26日後5時発

貴電第三三八號ニ關シ

該條例ハ南京發本大臣宛公信普通第一四四號及第二五三號ノモノト存スル處若シ千二百萬元ノ公債ヲ發行シ之カ償還

資金ニ全國國有鐵道ノ利益ヲ當ツルモノ(三月三日

Chinese Economic Bulletin 記載)ナルニ於テハ本邦ノ對支鐵道債權ニ影響ナシトセス支那側ニ付充分事情ヲ聽取シ且適當ノ方法ニ依リ我方ノ權益尊重方注意ヲ喚起シ置クコト債務整理ニ對スル我方ノ關心ヲ示ス一助トモナリ好マシキ儀ト存セラル但南京宛往電第六二號ノ趣旨ニモ顧ミ英白

等ノ抗議ニ直チニ「セコンド」スルカノ感ヲ與ヘサル様注意ノ要アルヘシ御如才ナキコトトハ存スルモ爲念

北平、天津、青島、南京へ轉電セリ

94 昭和9年4月26日 在中國堀内臨時代理公使より

廣田外務大臣宛(電報)

平綏鐵道債権整理文書において協定要綱は成立したが鉄道部は東亞興業分のみ應諾について

別電

四月二十六日發在中国堀内臨時代理公使より

廣田外務大臣宛第三五七号

右協定要綱

上海 4月26日後発

本省 4月26日後着

貴電第九六號等ニ關シ(債務整理一件)

内田、金井ハ共同ニテ十數日前ヨリ連日陳局長ト協議ヲ重ねタル結果數日前漸ク別電要領ノ如キ協定要綱ヲ協定シ鐵道部ニ請訓シタル處鐵道部ハ東亞ノ分ニ付許可ヲ與ヘタルモ三井ノ分ニ付テハ民國十一年三井ヨリ公使館ヲ通シ鐵道

部ニ對シ三井ノ整理ハ「ファウラー」ト同様條件タルヘシトノ要求ヲ爲シ居ル關係上既ニ「フ」社ニ對シ實行シ居ル條件ヨリ有利ナル條件ヲ三井ニノミ認メ難シトノ理由ニテ

許可ヲ與ヘサリシ趣ニテ陳ハ東亞ニ對シテハ前記要綱通ノ契約(契約書作成済)ニ直ニ調印スヘキモ三井ニ對シテハ「ファウラー」ノ條件ニ準シ(但シ償還期限八百ヶ月ヲ四百五十ヶ月ニ短縮方鐵道部ノ許可ヲ得ル見込ナリト言明シ居ル由)別ニ契約シタシト主張シ

(別電)

上海 4月26日後発  
本省 4月26日後着

第三五七號

協定要綱

一、延滯利息ハ元金同額迄切下ヶ之ニ對シ將來利息ヲ計上セス

二、元金ニ對スル將來ノ利息ハ六分トシ根本整理案協定前ハ單利トス

三、月賦金ハ優先シ元金ノ償還ニ充當ス

四、月賦金ハ東亞、三井分〔アメリカン、ロコモチブ〕ノ分ヲ除クニ對シ毎月日金三萬圓トシ平綏ノ現金收入年額一千萬元ニ對シ超過セハ超過額ノ百分ノ五ヲ加算ス

六、擔保品ノ解除ハ内入額ニ相當シ順次行フ

七、新協定不履行ノ場合ハ現契約ニ復歸ス

八、鐵道部ハ成ル可ク速ニ全國鐵道債務ヲ整理スル意嚮アレ

ハ將來東亞、三井ト根本整理案ニ付協定スル場合ハ本協

定ヲ廢止ス

95 昭和9年4月28日 在中國境内臨時代理公使より  
廣田外務大臣宛(電報)

平綏鐵道債權整理に關し東亞興業のみ協定に調

印し三井物産の交渉は一時中止の方針について

上海 4月28日後発  
本省 4月28日後着

第三六四號

往電第三五六號ニ關シ

其ノ後兩人ヨリ更ニ陳<sup>(沈)</sup>ヲ說得シタルモ陳ハ東亞ノ分ニ付テ  
モ今回ノ協定ハ鐵道部内ノ強キ反對アリ部長ヨリ協定調印  
ヲ是認セラレタル上ハ引責辭職スル積リ(辭表ヲ内示シ居  
タルモ右ハ部内ノ反對ヲ抑ヘル爲ニテ部長ノ慰留ニ依リ留  
任スルモノト思ハル由)ナリトテ此ノ上鐵道部說得ヲ承

引セス已ムナク東亞ノ分ハ二十八日調印ノ筈トシ三井ノ分  
ニ付テハ二十七日陳<sup>(沈)</sup>ヨリ協定要領ハ冒頭往電ノ理由ニ依リ  
鐵道部ノ批准ヲ得難キ旨ヲ通知スル趣旨ノ金井宛書翰及三  
井側ニ於テ「ファウラー」ト同一ノ條件ニテ整理ニ異存無  
ケレハ期限四百五十ヶ月ニ短縮万陳<sup>(沈)</sup>ニ於テ鐵道部ノ許可ヲ  
得ル様努力スヘシトノ覺書ヲ金井ニ送附シ  
<sup>(2)</sup>金井ヨリ陳<sup>(沈)</sup>ニ對シ協定要綱ハ陳局長ニ於テ承認シタルモ鐵  
道部カ冒頭往電ノ理由ニ依リ承認セサルハ遺憾ニシテ三井  
側トシテハ右理由ヲ認メ難キモ暫ク研究ノ上不日北平ニ於  
テ協議ヲ續行スルコトト致度シトノ書翰ヲ送附シタル上一  
時交渉ヲ中止スルコトシタル趣ナリ(右覺書ノ條件ハ實  
質的ニ東亞ノ分ト同様ナル趣ナリ)  
當方トシテハ鐵道部說得ニ盡力スル積リナルカ右不可能ノ  
場合ノ處置ニ付テハ三井本社側ノ意見モ有リ近ク歸朝ノ内  
田ノ說明ヲモ參照セラレタシ當方ノ意見ハ鐵道部ノ意嚮ヲ  
モ確メタル上追テ申進スヘシ尙前記民國十一年三井側ノ書  
翰及其ノ提出ノ經緯郵送ヲ請フ  
北平、南京へ轉電セリ

96 昭和9年5月1日 在中國境内臨時代理公使より  
廣田外務大臣宛(電報)

平綏鐵道債權整理協定に東亞興業調印について

上海 5月1日後発  
本省 5月1日後着

第三七四號

貴電第一四〇號ニ關シ

往電第三五六號ノ次第ハアルモ更ニ二十八日前金井、顧

二會見鐵道部反對ノ理由無キコトヲ説明シテ再考ヲ求メタ

ル處顧ハ本件ニ付テハ鐵道部ノ考ハ既ニ擔當者ヨリ充分説

明シタル次第ナレハトテ納得セス金井ニ於テモ本官及内田

ト話合ノ上已ムヲ得ス前記往電陳<sup>(沈)</sup>トノ文書交換ニテ差當リ

交渉ヲ中止スルヨリ外途無シトノ意嚮ニテ東亞側ハ全日午

后協定日本文、三十日全漢文ニ署名ヲ了シ(目下調印手續ヲ

爲シタル後三井分ニ付テハ鐵道部内ノ反對ヲ押ヘ速ニ解決

スル様考慮ヲ求メタル處顧ハ三井分ハ債權成立ノ形式ヲ異

ニシ居リ現ニ實行中ノ同種債權整理トノ關係モアリ形式上  
東亞ト同一條件ニスル(コト)困難ナルモ之ニ對シ實質的ニ

97 昭和9年5月9日 在南京須磨總領事より  
廣田外務大臣宛(電報)

鐵道建設公債条例に關し我が方債權の保全を

鉄道部に注意喚起について

南京 5月9日前發  
本省 5月9日後着

第四六一號

往電第四二三號ニ關シ

八日曾仲鳴ト會見ノ際(顧孟餘ハ不在)支宛貴電第一三九號  
ノ次第モアリ國有鐵道剩餘金ヲ本條例ニ依リ公債ノ擔保ト  
スル時ハ我方鐵道債權ニ甚大ナル影響ヲ及ホスヘク到底看  
過シ難シト申入タル處實ハ英米白等ヨリモ同様ノ質疑出テ  
居ルカ所謂剩餘金トハ各國債權ノ擔保トナリ居ル分ヲ支拂

ヒタル上ノ剩餘金ノ意味ナレハ御懸念無用ナリト答ヘタル  
ニ付本官ヨリ然ラハ結局剩餘金等當分アリ得サルニ非スヤ  
ト突込ミタルニ曾ハ其ノ内各鐵道ノ改良ヲ計リ條例ニ所謂  
剩餘金ヲ捻出シタキ日論見ナリト答ヘ居タリ  
支、北平、天津、青島へ轉電セリ  
支ヨリ上海へ轉報アリタシ

~~~~~

98 昭和9年6月29日 広田外務大臣より
在中国有吉公使宛

粵漢鐵道建設公債發行に当たつての中英間義

和団賠償金貸付契約は我が方債権を侵害する

おそれがあるため右契約の詳細探査方訓令

亞一機密第七六號

昭和九年六月廿九日

外務大臣 廣田 弘毅

在中華民國

特命全權公使 有吉 明殿

粵漢鐵道完成ノ爲英國團匪賠償金返還分利用リ

關スル件

方ノ權利保金^(全)ニ關シ適宜措置ノ必要アリト存セラルニ此
ノ邊ノ事情探査方御配慮相成度結果貴見ト共ニ御回報相成
度
此段申進ス

本信寫送付先 北平、南京、英

99 昭和9年7月14日 広田外務大臣より

在中國有吉公使宛(電報)

粵漢および滬杭甬兩鐵道關係借款は郵伝部公

債の担保権を侵害するおそれがあるため我が

方權利保全の保証を中國側より取付け方訓令

本省 7月14日後6時30分発

第二〇四號

一、在英大使來電第三二六二號末段ノ滬杭甬鐵道借款ハ同鐵道
ノ收入ノ外鐵道部一般資金ヲ擔保トスル趣ナル處右一般

資金トハ何ヲ意味スルヤ不明ナルモ鐵道部ノ資金ヲ國民
政府ノ一般資金ト區別スルコトハ我方トシテ之ヲ認ムル

能ハス(英國カ鐵道關係ノ債權ノ整理ニ熱心ナルニ反シ

我方ハ鐵道部關係ノ債權ヲ他ノ國民政府ニ對スル債權ト
申進ノ次第アル外英國團匪賠償金返還分ヲ今次發行ノ公債
ノ擔保トスルニ當リテハ御承知ノ如ク中央庚款董事會ト鐵
道部ノ間ニ鐵道部カ董事會ニ屬スル賠償金ヲ借入シテ完成
後ノ粵漢鐵道收入ヨリ董事會ニ返償スル趣旨ノ借款契約
(先般貴館掘内書記官ノ内密入手セル Report of the Board
of Trustees for the Administration of the Indemnity
Funds remitted by the British Government 1933(July to
December))所載ノ契約書寫別紙ノ通)ヲ締結シ居ル處同
契約第十三條四全國各鐵道附加稅收入ノ一定率ヲ擔保トセ
ル點(附屬「シエデユール」ハ前記「リポート」中ニ載錄セ
ラレ居ラサル爲詳細判明セサルモ)ハ膠濟南寧等ノ本邦關
係鐵道ノ擔保權ヲ侵害スルモノト認メラレ(昭和八年七月
二十七日附亞一機密合第七一號三、ノイ参照)又同條五、平漢
鐵道收入ニ對スル第二擔保權ハ第一擔保ヲ何人ニ留保セル
カラ明記セサルモ香上及印度支那兩銀行引受ノ一九〇八年
郵傳部五百萬磅公債ノ爲ニノミ第一擔保權ヲ認メ郵便部借
款契約(正金銀行引受ノ支那政府五分利附鐵道公債)第三條
ノ權利ヲ無視シ居ルニアラスヤノ懸念アリ旁々場合ニ依我

區別スルハ不利ナリトナスコト北平關稅會議以來ノ經緯
及南京宛往電第六二號ノ經緯等ニ依リ御承知ノ通)假ニ
鐵道部收入ノ獨立性ヲ認ムルトスルモ我方ノ鐵道部關係
債權ノ權利ニ付キテハ權利保全ノ措置ヲ採ル必要アリト
存ス
二、尙粵漢鐵道公債發行ニ先チ中英庚款董事會ト鐵道部ノ間
ニ締結セラレタル借款契約ニ關シテハ六月廿九日附亞一
機密第七六號ヲ以テ申進ノ次第アリ(同信寫英ヘ發送ス
ミ、英ヨリ佛ヘ寫送付アリ度シ、紐育ヘ參考ノ爲送付ス)
三、就テハ先ツ正金上海支店ヨリ鐵道部ニ對シ信賴スヘキ情
報ニ依レハ客年七月十八日附ヲ以テ中英庚款董事會ト鐵
道部ノ間ニ締結セラレタル Consolidation contract for
loan of £4,700,000ハ平漢鐵道收入及全國各鐵道附加稅
ヲ擔保トスル趣ニシテ又最近中英公司ト交渉中ノ滬杭甬
鐵道借款ハ鐵道部一般基金ヲ擔保トスル趣ナル處右兩借
款ニ依リ明治四十四年三月二十四日附郵傳部借款契約
(支那政府五分利附鐵道公債)ノ權利カ影響ヲ受ケルコト
ナキ旨ノ保證ヲ得度ク永年元利支拂ノ中絶シ居ル該公債
ニ付至急支拂ヲ開始セラレ度シトノ趣旨ノ書翰ヲ發送セ

シムルコトト致度(右寫ヲ正金ヨリ貴地香港銀行側へ送付セシメレ度シ)

四、其ノ上ニテ右正金側書翰ヲ添附シ貴館ヨリ外交部宛公文ヲ以テ前記兩借款成立ノ情報アル處國民政府ノ一般收入並ニ鐵道部及各鐵路ノ收入ニ關シテハ帝國臣民モ多大ノ關係ヲ有スル次第ニシテ帝國臣民ノ有スル契約上ノ權利ハ本件中英庚款董事會並ニ英商及銀公司ト鐵道部ノ間ノ借款ニ依リ何等影響ヲ受クヘキモノニ非サルハ勿論ナル旨ヲ申入レラルコト然ルヘク(大体ニ於テ四月二十日附支宛亞一機密合第五〇號附屬別紙ノ形式ニ依ラレ差支ヘナシト存ス)

英宛往電第二一〇號御參照ノ上正金側ト聯絡シ然ルヘク措置方御配慮アリ度

南京、北平、英ヘ轉電セリ

~~~~~

100 昭和9年7月24日 在中國有吉公使より  
広田外務大臣宛(電報)  
中國側の對外債務整理方針に関する唐有壬内  
話について

南京、北平、英ヘ轉電セリ

~~~~~

依リ調査及整理ニ着手シツツアリ即チ

(一)外債ニシテ責任部局ノ判然セサルモノニ對シ其ノ責任部

局ト擔當額トヲ區分整理スルコト例ヘハ北平交通部電信

電話借款ノ如キハ其ノ一部ハ當時財政部ニ於テ流用シタ

ルモノナルニ付現在ニテハ交通、鐵道、財政ノ三部力責

任ヲ負フヘキモノナルカ如シ

(二)責任部局既ニ判明セルモノ及協議ノ結果區分出來タルモ

ノハ順次當該部局ニ於テ整理ノ實行ニ着手スルコト即チ

三井、東亞興業等ニ對スル平綏鐵道借款整理ノ如キ方法

ニ依ルコト

等ニテ大体右ノ如キ方針ニ依リ且下關係部局ニ於テ調査及

整理ニ着手シツツアリ尤モ政治借款等一般的ノモノニ付テ

ハ全然手ヲ着ケ居ラス云々

尙最近張公權ハ大村ニ對シ最近傳ヘラル外債整理說ハ政

府カ公債ノ市價吊上ヲ目的トセル胡魔化シノモノニテ實質

的ニハ何等整理實行ノ意思認メラレス此ノ點ニ付其ノ内政

諸案件交渉

二 日中

143

上海 7月24日後発
本省 7月24日後着

第六〇三號

最近當地漢字紙ニ國民政府ニ於テ外債整理着手等ノ記事散見セラレ(鐵道部ハ將來ノ經營擴張ノ必要上舊債ノ整理ヲ爲シ對外信用ヲ維持スル爲調查ヲ開始セリトノ七月七日ノ記事及行政院ニ於テ關係部會ヲ招集シ外債ニ對スル各責任部局ノ區分竝ニ整理實行方ヲ決議セリトノ十一日附南京通信等、南京發閣下宛電報第五七五號御參照)又數日前曾宗靈ハ大村ニ對シ行政院ニ於テハ債務整理實行方ニ關シ

(イ)整理ハ各部局ニ於テ且債務ヲ個別的ニスルコト

(ロ)債務ハ大體關稅特別會議ノ案ニ其ノ後ノ分ヲ加ヘタルモノトスルコト

(ハ)小借款ハ現金拂ノコト

(二)内債ハ現ニ償還實行中ノモノノ外暫ク之カ整理ヲ延期スルコト

ノ趣決議ヲ爲シタル旨竝ニ右決議ハ國防委員會ノ發案ニ基キ即チ其ノ「バツク」ハ汪精衛又ハ孔祥熙ナラスシテ蔣介石ナル旨内話シタル趣ナルカ二十二日有野カ唐有壬ト會見ノ通リ

府當局ニ詰問シテ見ル積リナル由内話シ居タル趣ナリ

以上出所發表セサル様致度シ

北平、南京ヘ轉電セリ

~~~~~

101 昭和9年7月24日 在南京須磨總領事より  
広田外務大臣宛(電報)  
顧孟余鐵道部長彈劾問題に關連して平綏鐵道  
關係債務などの整理協定は無効との主張起  
り監察院での審議紛糾の情報について

南京 7月24日後発

本省 7月24日後着

第八二六號

(一)二十三日當地漢字紙ニ上海通信トシテ顧孟餘ト金城銀行總經理タル周作民トノ間ニ平漢線ニ付三千萬元ノ借款ヲ成立セシムルノ原則既ニ決定シ内千二百萬元ハ外國材料ノ購入ニ充テラルヘキ旨詳細ノ報道アリ(報道郵送)タルヲ以テ本二十四日他用ヲ以テ張競立ト會見ノ際本件ニ言及シ要領左ノ通り會談セリ

一、張ヨリ右ハ鐵道部カ平漢線ニ付金城、鹽業、大陸、中國、

交通、浙江興業銀行等ノ有スル債権ヲ整理スル爲先ツ新借款三千萬元ヲ起サントシテ上海方面ト折衝中ナル事實ヲ傳ヘタルモノニテ大体

(一) 平漢線軌道修理  
(二) 黃河鐵橋ノ修理  
(三) 沿線ニ修理工場ノ設立  
(四) 長距離電話ノ架設

等ニ使用ノ目的ヲ以テ五ヶ年完済、年利六分ヲ以テ借りントスルモノナルモ例ノ顧部長彈劾案ノ爲一頓挫ヲ來シ當分實現ノ見込無キコトトナレリト述ヘタルヲ以テ

三、本官ヨリ右ハ彈劾トハ直接關係無キ問題ニアラスヤト突込ミタルニ張ハ實ハ極禱ナルカ監察院ヨリ第二次ノ彈劾案提出セラレ居リ右ハ鐵道部ノ最近行ヘル舊債整理ヲ槍玉ニ學ケ苟モ一年以上ノ長期ニ亘ル整理ハ一律立法院ニ附議セラルヘキニ拘ラス此ノ手續ニ依ラサリシハ不都合ナリト攻撃シ居レリ而シテ

(一) 平漢線ニ關スル光緒二十四年ノ契約ニ基ク匯豐銀行債權ノ整理(右整理ハ一昨年末成立シ元利金百七十萬磅ナリシヲ約千萬元位トシテ大体東亞ノ平緩線整理ト同

三、依テ本官ヨリ右事情アレハトテ從來ノ債務整理殊ニ平緩線關係ノ債務整理ハ續行セラルヘキモノナルヘシト念ヲ押シタルニ張ハ監察院ノ彈劾理由中ニ特ニ平緩線借款ハ元來國民黨討伐資金トシテ利用セラレタル旨擧ケラレ居事ニ手ヲ出スコト困難ナルヘシト内話セリ

(二) 「ジャーデン」等ノ津浦線材料賣込ニ關スル問題ノ整理(本月九日附機密第四五七號)

(三) 東亞ト沈局長トノ間ニ成立セル平緩線關係債務ノ整理  
(四) <sup>(2)</sup> 金城銀行等五銀行ニ對スル隴海線ニ關スル同銀行ノ借款整理ヲ條件トセルモノナル由)

様條件ニ依リタルモノナル由)

ルモ行政院ハ飽迄其ノ主張ヲ固持シ居レハ既成整理契約

カ無效トナルノ慎ハナカルヘシト答ヘ居タリ  
公使、北平ニ轉電セリ

ルモ行政院ハ飽迄其ノ主張ヲ固持シ居レハ既成整理契約

カ無效トナルノ慎ハナカルヘシト答ヘ居タリ  
公使、北平ニ轉電セリ

102 昭和九年八月二日 在中國有吉公使より  
在中國有吉公使  
廣田外務大臣宛

粵漢鐵道關係借款などの担保に關連して郵伝  
部公債における我が方權利保全を要求する外  
交部長宛公文の送付について

機密公第三三九號

昭和九年八月二日

在中國民國

特命全權公使 有吉 明(印)

外務大臣 廣田 弘毅殿

昭和九年八月二日附在南京須磨一等書記官宛機密公第二五  
五號信寫送付

粵漢鐵道及滬杭甬鐵道借款契約ニ關スル件

機密公第二五五號

外第二四號

以書翰啓上致候。陳者、貴國鐵道部カ客年七月十八日附中

英庚款董事會トノ間ニ締結シタル粵漢鐵道借款契約ニ於テ  
ハ平漢鐵道收入及全國各國有鐵道附加稅ヲ擔保トシ又最近  
同部カ中英銀公司及中國建設銀公司ト交渉中ノ滬杭甬鐵道  
借款ニ於テハ鐵道部一般收入ヲ擔保トセル趣ヲ以テ在上海  
正金銀行支店ヨリ別紙<sup>(省略)</sup>寫ノ通貴國鐵道部長宛本年七月十八  
日附書翰ヲ以テ同行カ明治四十四年三月二十四日附貴國郵  
傳部ト締結セル借款契約ニ依リ取得セル權利及利益カ前記

諸契約ニ依リ毫モ毀損セラレサルヘキ旨ノ確認方並同行ノ

有スル債權ノ至急支拂方ヲ要求シタル趣通知ニ接シタル處

帝國臣民ハ貴國ニ對シテ有スル債權確保ノ爲貴國政府ノ一

般收入並鐵道部及各國有鐵道ノ收入ニ關シ多大ノ利害關係

ヲ有スル次第ニシテ帝國臣民ノ有スル契約上ノ既得權利ハ

本件中英庚款董事會並英商及中國建設銀公司ト鐵道部トノ間ニ締結セラレタル借款契約ニ依リ何等影響ヲ受クヘキモノニ非ルハ勿論ニ有之右萬一ノ誤解ヲ避クル爲茲ニ聲明致

度、右ニ關スル貴部長ノ御見解折返シ御回示相成度候。

右申進旁本使ハ茲ニ重テ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候。敬具。

昭和九年八月一日

日本帝國特命全權公使 有吉 明

國民政府外交部長 汪兆銘殿

103

昭和九年8月23日

在南京須磨總領事より

廣田外務大臣宛(電報)

交通部關係債權整理に關し支払い月額および

再投資案など交通部側と協議について

付 記 七月三日付、東亞局第一課作成

第八七五號

往電第八七三號二關シ

二十三日尹科長來訪シ貴官ト忌憚ナキ意見ノ交換ヲ行フヘシトノ朱部長ノ命令ヲ受ケタリト前提シ中日投資ノ整理案ニ付尋ネタルヲ以テ本官ヨリ

一、債務者側ニ於テモ折角研究中ナルヘキカ交通部トシテハ確實ナル財源ヲ提供シテ最大限ノ支拂ヲ爲ス必要アル處

本官トシテモ交通部案ノ大體ヲ知ラサレハ債權者ヲ指導スルニ由ナキ次第ナレハ交通部案内示アリタシト應酬セ

ル處尹ハ大體ノ案ハ作り居ルモ一應東亞中日側提案ヲ承知シ度シ但シ提供金額ハ交通部ノ財政狀態ニ顧ミ大體七萬圓前後トナル可シト述ヘタルヲ以テ本官ヨリ然ラハ朱

部長カ先日本官ニ約束セル金額ヨリハ三萬圓モ少額ナルニ非スヤ東亞中日共現在七萬弗ト大差無キ金額ノ支拂ヲ受ケ居ル次第ナレハ斯ノ如キ整理案ニテハ問題トナラス

債權者トシテモ案ノ樹テ様無カル可シト述ヘタル處尹ハ

縷々交通部ノ財政狀態ニ付説明ヲ繰返シ本官ノ意見ヲ尋

ネタルヲ以テ

二、本官ヨリ全然私案トシテ例へハ大體東亞ノ平緩線ニ關スル債權整理ノ例ニ準スル事トシ一本一利ノ原則ヲ採リ

將來ハ元本ニ對シテノミ利子ヲ附シ月賦額ハ優先シテ元本ノ償還ニ充ツルコトモ一案ナルヘキカ何レニシテモ交

通部ノ提供スヘキ金額カ問題ナリト述ヘタル處尹ハ朱部長ノ言質モアリ何トカシテ十萬弗<sup>(元々)</sup>前後ノ支拂ハ致シ度キ

モ交通部トシテ「アベイラブル」ノ現金ハ事實約七萬弗<sup>(元々)</sup>ヲ出テスト答ヘタリ

三、次テ尹ヨリ朱部長カ本件ニ熱心ナルハ別ニ債務整理夫レ自體ニ關心ヲ有スルカ故ニハ非ストテ暗ニ將來ノ借款問題ヲモ考慮シ居ルヤノ口吻ヲ示セルヲ以テ本官ヨリ交通部ハ債務整理ニ提供スヘキ金額ヲ增加スレハ夫レ丈速ニ其ノ希望スル整理ヲ行ヒ得ル譯ナルカ一方資金融通ノ問題モ考慮セサルヘカラサルヘキニ付東亞中日カ受取ルヘキ月賦金ノ一部ヲ再投資スルコトモ考へ得ヘシ但シ本案ハ全然本官ノ私案ナリト述ヘタル處尹ハ緊張セル面持ニテ然ラハ十萬弗<sup>(元々)</sup>ヲ以テ整理案ヲ立テ三萬弗<sup>(元々)</sup>ヲ再投資ノ形

夷制東策ニ利用セラレサル様嚴重監視ヲ續ケ阻止シ得ヘキモノハ之ヲ阻止スルニ力ヲ注ギ來レリ右努力ハ今後共之ヲ繼續スル要アルモ日支關係ノ正常化ニ伴ヒ單ニ外國ノ活動ヲ妨害スルニ止マラス進テ我方モ對支經濟的進出ニ力ヲ注ク要アルハ勿論ナルヘシ

然ルニ此ノ種進出ニハ相當ノ資金ヲ要シ之カ調達ニハ我

方トシテモ鮮ナカラサル困難アリ我方ノ團匪賠償金利用ノ如キ理想案トシテハ考慮ノ要アルモ差當リ實現困難ナルヘキカ幸ヒ最近對支債權ニシテ個別のニ利拂ヲ開始シ若クハ整理交渉ノ進捗セルモノアリ現ニ交通部ヨリ中日實業及東亞興業關係ノ債務ヲ整理シ度キ旨申出レ居リ若シ此等債權ノ整理實現シ支那側ヨリ若干金ナリトモ入金アル場合右入金ノ一部ヲ積立テテ基金トシ材料賣込ヲ「ファイナンス」スル資金トスルコトセハ小規模乍ラ英國ノ團匪賠償金利用方法ニ類似セル效果ヲ擧ケ得ヘク其ノ結果ヲ見タル上債務整理ノ進捗ニ伴ヒ漸次規模ヲ擴大スルヲ得ヘシ

右債權整理ニ依ル入金ヲ基金トシテ再投資ヲ計ル案ハ債務整理自体ノ見地ヨリスルモ支那側ヲシテ舊債ヲ整理ス

レハ或程度ノ新借款ヲ得ラルヘシトノ期待ヲ抱カシメ一般債權整理ヲ促進スル效果アリ而カモ支那側ニ對シ漫然好意ヲ示スニハ非シテ支那側カ先ツ舊債ヲ整理シタル時即チ支那側カ先ツ誠意ヲ示シタル時始メテ新投資ノ利益ヲ與フルモノナレハ今後ノ對支政策ノ一般原則ニ合致スルモノト言フヘシ

三、右計畫ヲ考慮スルニ當リ先例トモナルヘキ英國ノ團匪賠償金利用方法ニ付一言セんニ英國ハ一九三〇年「ランプソン」王正廷間ノ交換公文ニ依リ同國ノ團匪賠償金(一九二二年來蓄積セラレタル分及一九四五年迄ニ取得スヘキ磅)及鐵道材料等ノ現物(約七百萬磅、英國ニ於テ購入ス)分合計但應急ノ教育事業補助金若干ヲ控除ス)約一千百萬磅ヲ支那政府ニ「リミット」シ英支混合ノ委員會ヲシテ保管管理セシメ同委員會ノ決定ニ從ヒ現金(約四百萬磅)及鐵道材料等ノ現物(約七百萬磅、英國ニ於テ購入ス)ニテ支那ニ於ケル鐵道事業等ニ貸付ケ右貸付ニ附スル利子ヲ文化事業費ニ充當スルコトナレル次第ナリ

右制度活動以來客年末迄約三ヶ年間ニ粵漢、津浦、杭江、膠濟等ノ各鐵道、南京浦口間ノ列車搭載渡船、實業部機械工場、無電事業、淮河治水事業等ニ對シ材料百七十萬

磅現金百萬磅ヲ貸付濟ナルカ此ノ結果直接ニハ百七十萬磅ノ英國品ノ對支輸出ヲ見タル譯ニテ又間接ニハ現金及材料ノ貸付(借款契約ノ形式ヲ採ル)ニ伴ヒ右鐵道等ニ對スル英國側ノ勢力進展ヲ見タル譯ナリ而テ此等貸付ハ順次委員會ニ返還セラレ更ニ再投資セラルル譯ニテ元金ハ永久ニ減少セス利子ハ三年間二百三十萬元ニ達シ最近愈文化事業ニ分配セラルルコトトナレル由ナリ

二、對抗スルカ爲ニモ我カ文化事業基金ノ投資方法ニハ根本的檢討ヲ加フル要アルヘシ但文化事業基金ノ利用方法改正ニハ法律ノ改正等手續上ノ困難モアリ少クトモ試驗的ニ他ノ基金ヲ以テ小規模ナル再投資ヲ試ミタル上ノコトトスルコト然ルヘシ

四、右試驗的ノ意味合ニ於テ差當リ實現シ得ヘキハ最近ノ交通部申出ナルヘシ交通部係官ヨリ本年三月須磨總領事ニ對シ同部ノ東亞興業及中日實業ニ對スル債權ヲ整理シタキ旨ヲ申出テタルニ端ヲ發シ爾來同總領事ニ於テ數次交通部長及同部係官ト本件ニ付會談スル所アリタルカ就中五月下旬交通部長ハ難キヲ忍シテ舊債ノ整理ヲナサント决心セル次第ヲ説明シ交通部トシテハ電信電話等今後ナスヘキ事業鮮ナカラストノ趣旨ヲ縷述シ如何ニモ舊債整理ノ代償トシテ新投資ヲ得度キカ如キ口吻ヲ洩シタル由ナリ

我方トシテハ支那側カ山東鐵道國庫證券ヲ償還シ來ル場合(出來得ル限り之ヲ阻止スル要アルモ)何等カ方法ヲ講シテ償還金ヲ山東鐵道ニ再投資シ同鐵道ニ對スル權益ヲ保持スル必要モアリ又前記英國側ノ團匪賠償金利用方法

右交通部申出ニ對シテハ債權者側ト協議シ對策講究中ナルカ今日迄ノ交渉ニ於テ交通部ハ毎月十萬元ノ月賦拂スラ容易ナラスト稱シ居ルニ拘ラス我方ノ満足シ得ルカ如キ整理案ヲ樹ツルニハ更ニ多額ノ月賦額ヲ出サシメサル

二 日中諸案件交渉

ヘカラス此ノ間支那側ト折衝ニ相當ノ困難アルハ想像ニ難カラサルモ若シ中日及東亞ノ月賦金ノ一部(例へハ今後ノ交渉ニ依リ増額シ得ヘキ部分)ヲ基金トシ交通部ノ建設事業費ニ利用セシムルコトトセハ前記交通部長ノ希望ニモ満足ヲ與ヘ月賦金増額ノ交渉ヲ容易ナラシメ得ヘシ而テ右基金ハ日本產電信電話材料ノ購入ニ利用スルヲ要ストノ條件ヲ附スルコトトセハ中日ノ電話借款及東亞ノ有線電信借款ノ本來ノ趣旨(電信電話材料ノ對支輸出促進)ニモ合致スル次第ナリ尙東亞中日兩社共此等借款ノ資金ハ本邦銀行團ニ(東亞借款ノ一部ハ預金部ニ)仰キ居リ借款ヲ整理シテ支那側ヨリ入金スル月賦金ヲ其ノ儘銀行團(及預金部)ニ支拂フコトトナレハ兩社共單ナル金錢受入機關トナリ會社ノ存在ノ餘地ナキコトトナル由トシテ更生ヲ計ルハ寧ロ兩社ノ希望スル所ナルヘシト思考セラル

三、尙最近滿洲ニ於テ大同林業株式會社及滿洲採金株式會社ノ設立ニ伴ヒ兩會社ヨリ吉黑金鑛林業借款ニ對シ内拂ヲナサシムルコトナレル處右内拂ヲ以テ基金ヲ作り再投

南京 9月7日前發  
本省 9月7日後着

第八九八號  
本官發支宛電報

第八八四號

貴公使發本官宛公文第二五五號ニ依ル汪外交部部長宛公文

ニ對シ六日附同部長ヨリ支那政府ハ鐵道部ト中英庚款董事會トノ間ニ低率ナ粵漢鐵路借款契約及最近協議中ナル滬杭

甬鐵路借款ハ等シク各(鐵)路原有ノ借款契約ニ影響ヲ及ホ

ササルモノト認ム尙右鐵路ノ賦課稅ニ至リテハ政府ヨリ各

鐵路ニ命令シテ附帶徵收スル一種ノ特別賦課<sup>(抽)</sup>ニシテ決シテ鐵路ノ營業收入ニセス且鐵路ノ「アカウント」内ニ記入

サレ居ラサルヲ以テ之ヲ流用シテ擔保ト爲スハ猶更各鐵路原有ノ債權者トハ關係無キ處ナル旨回答越セリ原文郵送ス

ヘキモ不取敢

大臣、北平へ轉電セリ

資ヲナスノ計畫アル由ニシテ此ノ種再投資ハ回收確實ナル滿洲國ニ對シテハ兎モ角支那ニ對シテハ不可ナリトカ再投資ナル一種ノ利益ヲ與フルセハ支那ヨリモ滿洲ヲ先ニスヘシトカ言フカ如キ議論アル模様ナリ一應尤モナル議論ナルモ支那ニ於テ前記英米佛等ノ施設ニ對抗シテ市場ノ確保、經濟的進展ヲ計ルノ要ハ滿洲ニ於ケルヨリモ緊急ナルモノアリトモ謂ヒ得サルニ非斯差當リ支那側ヨリ償還セシメタル資金ヲ支那ニ再投資スルノ案ハ對滿關係トハ關係ナキ譯ニシテ支那ニ對シテハ別箇ノ見地ニ立チ日支關係ノ全般的考慮ヨリシテ、將又山東鐵道問題等ノ考慮ヨリシテ成ルヘク速ニ一種ノ試驗的再投資施設ニ着手スルコト緊要ナリト思考セラル

104 昭和9年9月7日 在南京須磨總領事より  
廣田外務大臣宛(電報)

粵漢および滬杭甬兩鐵道關係借款は原有借款契約に影響を及ぼすものではない旨外交部長

回答について

105 昭和9年9月11日 广田外務大臣より  
在中国有吉公使宛(電報)

青島公有財產等補償國庫証券の延滞金支払い

別電 九月十一日發广田外務大臣より在中国有吉公使宛第二四一号

右督促公文要旨

本省 9月11日後6時30分發  
第二四〇號

四月六日附貴信機密第一二三號ニ關シ(一四五)

一、九月十三日ヲ以テ公有財產等國庫證券今半期元利拂期限到来スルニ付大様別電第二四一號ノ趣旨ニテ然ルヘク督促ノ公文御作成ノ上至急南京政府ニ申入レ方御配慮アリ度ク尙御裁量ニ依リ別電文末ニ於テ外交部宛四月七日附公文(前項貴信附屬前段(一般債務整理問題)ニ付先方ノ注意ヲ喚起シ回答ヲ督促セラレ度

三、尙本件督促發送後適當ノ機會ニ支那側ノ然ルヘキ筋ニ對シ口答ヲ以テ回答ヲ督促セラレ先方ノ應酬振回電アリ度(但差當リ三月六日附往信亞一機密第二五號附屬試案乙)

ノ(一)ノ(イ)ノ趣旨ニ止メ同(ロ)ノ措置ハ差控フルコト從來ノ通トス

別電ト共ニ南京、北平へ轉電シ青島へ暗送セリ

九六公債整理困難との財政部見解に対し青島公有財産等補償國庫証券延滞金支払い要求との関係を考慮した上で対処すべき旨訓令

(別電)

本省 9月11日後6時30分発

第二四一號

山東公有財產國庫證券ニ付キテハ曩ニ四月七日附公文ヲ以テ申入ノ次第アルニ拘ハラス其ノ後何等ノ回答ニ接セス然ルニ同證券ノ今半期ニ支拂ハルヘキ元金五十萬圓及利子ノ支拂期日ハ九月十三日ナル處右元金及利子ヲ至急支拂ハレ度ク尙大正十三年九月分及大正十四年三月分一部分ノ支拂アリシ以後本年三月分迄未拂トナリ居ル元金九百二十七萬五千五百六十圓五十九錢(九、一七五、五六〇・五九)及大正十四年九月分以後ノ未拂利子並ニ右ニ對スル延滯利子至急支拂相成度、前記公文ヲ以テ申入ノ通帝國政府ハ本證券ノ元利金支拂ヲ特ニ重要視スルモノナルヲ以テ何分ノ儀至急御回示相成度

106 昭和9年9月12日 広田外務大臣より  
在中国有吉公使宛

九六公債整理困難との財政部見解に対し青島公有財産等補償國庫証券延滞金支払い要求との関係を考慮した上で対処すべき旨訓令

亞一機密第一一二號

昭和九年九月十二日

外務大臣 廣田 弘毅

在中華民國

特命全權公使 有吉 明殿

九六公債支那側所持人請願ニ關スル件

本年七月三十一日附銀行週報第八六〇號「證券」欄所屬別紙譯文ノ記事ニ依レハ九六公債所持者ノ希望ニ基キ北平銀錢業公會ヨリ財政部ニ對シ同公債ノ整理方請願セルニ對シ財政部ヨリ九六公債ハ發行額用途等不明ニ付處理困難ナル旨回答アリタル趣ナル處今般對支債權者組合側ヨリ右ハ支那側所持者ノ措置ナルモ本件公債ハ同一教令ニ依リ銀建及金建ヲ一括發行セルモノニアリ旁々日本側所持者トシテモ財政部回答ヲ默過スルハ如何カト存スルニ付政府ニ於テ措置

振考究セラレ度キ旨願出アリ

本件財政部回答ヲ見ルニ「發行額漫然トシテ制限ナク用途モ亦考察スルニ困難ナルモノアリ」云々トナシ居ルハ頗ル不都合ナルヲ以テ前記記事ニ付照會ノ上抗議ヲナシ以テ九六公債整理方開談ノ機會ヲ作ルヲ得ヘキヤニモ思考セラルモ九六公債問題ハ差當リ整理方ヲ開談スル迄ニ機モ熟シ居ラサルヘク又青島公有財產及鹽業補償國庫證券(同證券ニ付キテハ至急何等カ話合ノ端緒ヲ得ル必要アルコト御承知ノ通)ト九六公債カ等シク鹽餘ヲ擔保トシ從來ヨリ種々ノ關聯アリシ經緯ニモ鑑ミ今九六公債問題ヲ提起スルニ於テハ國庫證券支拂要求ノ心理的效果ヲ弱メ若クハ兩問題ノ間ニ「コンプリケーション」ヲ生スル惧ナシトセス加之前記財政部回答ハ理由ハ不都合ナルモ結局「處理困難ナリ」ト言フニ止マリ強チ債務ヲ否認スルモノトモ解シ難キヲ以テ必ス抗議セサルヘカラスト言フ性質ノモノニ非サルヘシト認メ差當リ書面ニ依ル抗議等ハ差控フルコトセリ尤モ此ノ種問題ヲ多數提起シテ其ノ間一般債務整理問題乃至ハ國庫證券問題ヲ有利ニ展開セシムル(例へハ九六公債

二當テ國庫證券ハ「他ノ財源」ヨリ支拂フヘシト要求スルカ如キ方可ナリトノ貴見ナラハ本件銀行週報記事等ヲ御利用ノ上然ルヘク措置セラルコトト致度

本信寫送付先 北平、南京

107 昭和9年9月20日 在南京須磨總領事より  
広田外務大臣宛(電報)

不確実債權整理交渉の再開ならびに青島公有財產等補償國庫証券の延滞金支払いを外交部

に再度督促について

付 記 十月十一日付守島(伍郎)東亜局第一課長より

在中国堀内公使館一等書記官宛半公信  
「對支債權整理問題ニ關スル件」

南京 9月20日後発

本省 9月20日後着

第九五六年號

本官發支宛電報

第九四五號

二 日中諸案件交渉

ト國庫證券ト兩問題ヲ同時ニ提議シテ鹽餘ハ九六公債支拂

補償國庫證券支拂督促ノ件

二十日唐有壬ト會見ノ上我方カ一般不確實債務ノ整理殊ニ本國庫證券ノ延滞元利金支拂ヲ重視シ居ル旨申入レタル處唐ハ一般山東問題トモ關係アル次第ナレハ早速財政部其ノ他ト協議付キ次第支那側態度ニ付内報申上ク可シト簡單ニ答ヘ居タリ不取敢

大臣、北平、青島へ轉電セリ

(付記)

對支債權整理問題ニ關スル件

拜啓陳者、

(一) 對支債權整理問題ニ關シテハ本年四月七日附ヲ以テ外交部ニ對シ一般債權整理交渉ノ再開方並ニ青島公有財產及鹽業補償國庫證券元利拂ノ件ヲ申入レラレタル外有吉公使ヨリ外交部長財政部長等ニ説示セラレ更ニ去ル九月十四日附ヲ以テ督促狀ヲ發セラレタル次第ニ有之候處此等公文ニ對シ支那側ハ今日迄何等ノ回答サヘモ寄越ササル現狀ニ候

(二) 元來前記四月七日附公文ヲ發スルコトトナリタル直接ノ

如キ空氣次第濃厚トナリツツアル實情ナル處之ニ對シテハ當方ニ於テモ論破乃至慰撫等可然取計ヒ居ルモ右債權者側ノ空氣モ一概ニ無視シ得サルコト申ス迄モナキ義ト存候

(三) 以上ノ次第ナルヲ以テ前記四月七日附及九月十四日附公文ニ對スル支那側ノ不回答ニ付テハ今後トモ嚴重追及ヲ加ヘラレムコト希望ニ堪ヘス因ヨリ右追及ノ結果支那側カ回答ヲナシ來ルトスルモノ内容ハ例ニ依テ例ノ如ク財政困難ヲ訴ヘテ内外債務整理委員會ニテ研究中ナリ等何トカ彼トカ遁辭ヲ設ケテ交渉ヲ回避セムトスルカ如キモノニ非スヤトハ存セラレ候モ兎ニ角此ノ際支那側ノ不回答ヲ其ノ儘ニシ置クコトハ面白カラスト存候尤モ實ハ斯種公文ノ取遣ヲ繰返ス丈ケニテハ前記(二)ノ目的達成ニハ仲々縁遠キ次第ニテ結局ハ矢張り往年重光公使ニ於テ貴官等協力ノ下ニ努力セラレタル通り公式非公式ニ直接支那側關係者ニブツツカリ押シタリ引イタリ脅シタリ賺タリ押問答シツツヂリ押ニ進ム外ナキコト申ス迄モナキ義ト存候

(四) 然ラハ前記支那側トノ折衝ハ如何ナル人物ヲ相手トシ如意ト存候

動機ハ債務整理問題殊ニ前記國庫證券元利拂ノ件ヲ山東鐵道國庫證券問題ノ捨石トシテ利用セムトスルニ在リタル譯ナルカ一方支那側ノ我方ニ對スル重大ナル不始末タル債務濫滯ヲ執拗ニ責メ付ケ心理的壓迫ヲ加フルコトニ依リ支那側ヲ我方ニ對シ受身ノ立場ニ置カントスル大局的ノ意圖モ多分ニ在リタルコト御承知ノ通ニ有之且又少トモ問題トナリ來リツツアルコトノ目的ヲ達セムトノ考モアリタル次第ニ候(最近個別的整理カ多度ハ此ノ上トモ嚴重ニ追及シ以テ支那側ニ對シ心理的壓迫ヲ加ヘ又自然個別的整理ノ機運ヲ促進スルコト肝要ナルヘク將又將來前記山東鐵道國庫證券問題ノ捨石トシテ利用ノ方策ヲ實行スルコトアル場合ヲ考フルニ我方ニ於テ債務整理問題乃至山東公有財產等國庫證元利拂ノ件ヲ今少シク具体的ニ突込シテ交渉シ置カサレハ捨石トシテ利用スルニ不都合ヲ感スヘシト存セラレ候尙近時日支關係ノ緩和ニ伴ヒ本邦債權者側ニテハ債務整理ニ對スル希望ヲ再燃シ來リ一体外務省ハ何ヲシテ居ルノカト云フカ

(五) 仍テ次官局長トモ種々協議シ小官トシテハ債務整理案件ニ通曉シ往年ノ經驗モアリ且現地ノ事情ニモ精通シ居ラ

ル貴官ノ歸朝ヲ煩シ打合ヲナスコト最上ト思考スル旨  
上申セル處兔ニ角小官ヨリ書面ヲ以テ委細貴官ニ申進ノ  
上本件ニ關スル貴見殊ニ前記四ノ點即チ支那側ト折衝ス  
ル實際ノ方策ニ付貴官ニ於テ最良ト思考セラル「プロ  
グラム」様ノモノノ御開示ヲ求ムルコト可然ト云フニ決  
シ次官ノ命ニ依リ以上申進ムル次第ニ有之候就テハ御多  
用トハ存スルモ成ル可ク至急右御開示ヲ得度候

(六) 尚對支債權者組合側ニテハ在支公使宛本年二月十九日附  
亞一機密第一六號申進ノ通本邦債權者側ト支那側トノ間  
ニ双方ヲ「コンミット」セサル建前ニテ對支債權全般及  
個々ノ債權ニ付整理辦法ヲ討議スヘキ研究會様ノコトヲ  
行ヒテハ如何トノ考トハ有シ今春東亞內田渡支ノ際モ右  
ニ付同人一個ノ思付トシテ夫レトナク支那側ノ意嚮ヲ  
「サウンド」セル由ナルカ同人今回渡支(十月十六日貴地  
着ノ筈)ノ上ハ前回ヨリモ今少シク立入りテ先方ノ意嚮  
ヲ確メ度キ趣ヲ以テ最近當方ニ伺出ノ次第有之候今春ノ  
如ク債權者組合側カ在京支那公使ニ(殊ニ政府ニ無斷ニ  
テ)請願スルカ如キハ頗ル面白カラス又當時ハ民間カ先  
走リテ日支ノ提携ナトト驕キ立ツルコトヲ嚴ニ警戒スル

昭和九年十月十一日

守島外務省東亞局第一課長

在中國公使館

堀内一等書記官

追テ本件ハ御裁量ニ依リ然ルヘク須磨君ニ御内報相成度  
追テ本件ハ御裁量ニ依リ然ルヘク須磨君ニ御内報相成度

匆匆敬具

108 昭和9年9月27日 広田外務大臣より  
在中国有吉公使宛(電報)

粵漢および滬杭甬兩鐵道關係借款は原有借款契  
約に影響しないとの外交部長公文に対し鐵道付  
加税に關する我が方見解通告など対処方訓令

別電 九月二十七日発広田外務大臣より在中国有吉

公使宛第二五五号

右外交部長公文への回答要旨

本省 9月27日後5時30分発  
第二五四號

井側交渉開始ノ機運ヲ作ラルルコト致度(右當業者ノ交  
渉ニ付テハ(イ)正金ハ最近赴任ノ新支店長ニ委細申聞ケアル  
趣ニシテ(ロ)三井側ハ先般平漢鐵路側ヨリ照會アリタルニ付  
債權額等ヲ通報シ整理方要求中ノ趣ナリ)

別電ト共ニ北平南京へ轉電セリ

冒頭南京來信及別電ト共ニ英ヘ郵送セリ

(別電)

本省 9月27日後5時30分発  
第二五五號

兩新借款カ原有契約ノ權利ニ何等影響ヲ及ホササル旨ノ言  
明セラレタルヲ了承ス從テ當該鐵道收入ハ新借款ニ優先シ  
テ本邦關係債權ノ辦濟ニ充當セラルヘキモノナルコトヲ貴  
國政府ニ於テ保障セラレタルモノト認ム  
但附加稅ハ鐵道收入ニ非ストノ見解ハ我方ノ承認シ得サル  
所ナリ附加稅ノ賦課ヲ運賃引上ト區別スル理由ナク各鐵道  
ノ收入ハ其ノ基因ノ如何ヲ問ハス不可分ノ一体ヲナスヘキ  
モノナレハ附加稅收入ハ優先的ニ各當該鐵路ノ未拂債務ノ  
金等ノ整理ヲ實行スヘシ」トノ趣旨ヲ説示セラレ正金及三  
モ速ニ辦法ヲ講シ郵傳部公債ノ元利拂其ノ他三井ノ賣掛代  
附加稅ニ對スル我方主張ハ先方ニ於テ更ニ反駁シ來ルヤモ  
シ計り難キモ適當ノ機會ニ支那側ニ對シ口答<sup>(頭タ)</sup>ヲ以テ「要スル  
ニ原有借款ノ元利拂サヘ實行スレハ債權者側モ附加稅ニ對  
スル權利ヲ云々スル必要モナキ譯ナレハ平漢鐵道ニ付キテ  
モ速ニ辦法ヲ講シ郵傳部公債ノ元利拂其ノ他三井ノ賣掛代  
金等ノ整理ヲ實行スヘシ」トノ趣旨ヲ説示セラレ正金及三

必要アリタル次第ナルカ最近ノ事態殊ニ債務整理問題ノ  
現狀ヨリスレハ右研究會モ政府トノ間ニ密接ナル連絡ヲ  
保チツツ用心ヲ加ヘテ進ム限りハ前記ノ如ク支那側ト押  
問答スル道具ノ一トシテ利用スルコトモ或ハ一案カト本  
官トシテハ私ニ考ヘ居ルモ他面過早ニ民間ヲ關與セシム  
ルコトハ却テ事態ヲ紛糾セシムル惧モアルヘク旁々差當  
リ内田ニ對シテハ債權整理問題ニ付キテハ本年四月以來  
累次支那政府ニ交渉再開方申入レ居リ且最近ハ何トカ促  
進方ヲ種々考ヘ居ル次第ニ付少クトモ今回ハ前回ノ程度  
以上ニ進ムコトヲ差控フル様尙萬事堀内書記官ト打合セ  
其ノ指示ニ從フヘキ旨説示致置候間右爲念申添候

交通部関係債権整理に關し一併整理は困難と認め  
とりあえず東亜興業分のみ整理大綱協定について

貴大臣發南京宛電報第一五九號ニ關シ(交通部債務整理ノ件)  
第八五八號

一、其後モ交通部ヨリ須磨二十四萬元ニテ一併整理斡旋方頻  
リニ懇請シ來レルヲ以テ須磨ヨリハ提供金額僅少ナルヲ  
以テ到底問題ト成ラサルヘキモ更ニ上海ニ赴キ特ニ交通  
部ノ爲今一應斡旋ヲ試ムヘキニ付其ノ間増額方ヲ慎重考  
慮アリ度シト申入レ二十九日須磨來滬シ一方南京ニ於テ  
ハ三十日及三十一日朝海ヲシテ尹國墉ニ對シ内田ハ依然  
右金額ニテハ中日ニ對スル責任迄ハ執レスト强硬主張シ  
居リ交渉ハ「クリティカル」ナル次第ヲ告ケ增額ヲ要求  
セシメタル處尹ハ此ノ上ノ増額ハ到底不可能ナリト答ヘ  
交通部ノ駆引モ大体底ヲ入レタルモノト觀測セラレタリ

交渉決裂ヲ虞レタル朱家驛ハ尹帶同來滬一日須磨及内田  
ト會見セルカ種々交渉ノ末内田ヨリ十四萬元ニテ一併整  
理ハ到底問題ト成ラス又七萬元ニテ東亞ノミニ對スル整  
理案ヲ立ツルコトサヘモ至難ナルカ須磨總領事ノ斡旋モ  
アリ已ムナク右ニ同意スル次第ナリト告ケ結局内田、朱  
トノ間ニ七萬元ヲ以テ一本一利(元金ニノミ六分單利  
ヲ附ス)月賦金ハ先ツ元金ノ支拂ニ充ツノ三原則ニ基ク  
整理大綱ヲ取極メ本二日ハ内田、尹トノ間ニ細目ノ協定  
ヲ遂ケツツアリ

二、冒頭貴電(一)ニ關シ中日名義ノ古河、住友關係ノ分ハ中日  
電話借款トハ別個ニ考へ居ラス但シ三井ノ分ニ付テハ當  
初ヨリ中日ニ關係無キ事實注意ヲ喚起シ置キタリ  
三、冒頭貴電(二)ニ關シ須磨トシテハ日支爲替相場ノ現状ニモ  
顧ミ當初ヨリ元ヲ單位トシテ話ヲ進メ居タルカ月額十四  
萬元トシテ支拂ヲ續ケシムルナラハ兎モ角十四萬元ヲ現  
在ノ爲替相場ニテ換算セル日本貨幣額ヲ將來モ相場ノ變  
動ニ關係無ク釘付ケシテ支拂ハシムルコトハ不得策ナル  
ヲ以テ結局當方カ讓歩セルカノ如キ形式ニテ恩ヲ賣リツ  
ツ十四萬圓<sup>(元)</sup>トスルコトトセリ

四、冒頭貴電(四)ニ關シ當方ニ於テモ一併整理ノ方針ニテ交渉  
ヲ續ケ全体ニ對スル提供金額ヲ決定スル迄ハ個別整理ニ

乗出ササル様内田ヲモ指導シ居リタルコト南京發貴大臣  
宛電報第一〇四二號ノ一ノ通ニテ其ノ後手段ヲ盡シテ十  
四萬元迄引上ケシメ大体交通部ヲシテ提供ニ同意セシメ  
得ル最大限度ト觀測セラレタル金額ヲ得南京發貴大臣宛  
電報第一〇四四號ノ通請訓セル次第ナリ須磨ニ於テハ此  
ノ上トモ交通部債務一併整理ノ希望ヲ斡旋スルカ如キ形  
ニテ中日ニ關シ數年後確實ナル財源ヨリ相當額ヲ遞増シ  
整理方然ルヘキ旨說得ニ努ムヘキ手筈ナリ

南京、北平へ轉電セリ

110 昭和9年11月6日 在南京須磨總領事より  
広田外務大臣宛(電報)

東亜興業との債務整理交渉妥結に關し朱家驛

謝意表明について

南京 11月6日後発

第一〇五七號

111 昭和9年11月14日 在南京須磨總領事より  
広田外務大臣宛(電報)

青島公有財產等補償國庫証券の延滞金支払い

に關し外交部に回答督促について

南京 11月14日後発

第一〇八二號

本官發支宛電報

第一〇七六號

大臣發支宛電報第一四〇號ニ關シ（青島公有財產及塩業補償國庫證券支拂督促）

十四日唐有壬ト會見ノ上再應回答ヲ督促セル處唐ハ財政部ニ於て的確ナル支拂方法攻究中ナレハ何レ御返事申上クヘシ答ヘタルヲ以テ本官ヨリ成ルヘク速ニ回答方要求シ置キタリ

大臣、北平、青島へ轉電セリ

112 昭和9年12月20日 在南京田中總領事代理より  
広田外務大臣宛（電報）

郵伝部公債元利金支払いに關し鐵道部より非

公式整理案提示について

南京 12月20日後発  
本省 12月20日前着

往電第一二一三號ニ關シ

一、十九日中村ハ張競立朱起蟄（債務科長）ト會見ノ上支那側

113 昭和9年12月26日 在南京田中總領事代理より  
広田外務大臣宛（電報）

郵伝部公債元利金支払いに關する横浜正金銀行  
派遣員と鐵道部との交渉一時打切りについて

第一二六〇號

南京 12月26日前發  
本省 12月26日前着

往電第一二三〇號ニ關シ

一、中村ハ二十四、二十五日朱起蟄及張競立ト會見セルカ支

那側ハ條件通ニテ支拂出來兼又レハコソ貴方ノ讓歩ヲ御

願シテ整理ヲ行フ次第ナリト述ヘ東亞ノ平緩線ニ對スル

債權整理ノ例等ヲ引キタルモ中村ヨリ本件公債カ公募セ

ラレ居リ東亞ノ夫レトハ全然性質ヲ異ニシ居ル點ヲ指摘

シ冒頭往電支那側案ニテハ問題トナラスト述ヘタル處張

ハ（延利子拂ハ考慮ノ餘地無シ）利札、利率ニ付テモ今

少シク餘裕アル態度ヲ示ササルニ於テハ妥協ノ餘地無シ

ト答ヘ此以上ハ張朱カ「オーソライズ」サレタル話合ノ

範圍ヲ越ユルヤニ觀察セラレタルヲ以テ一應交渉ヲ打切

レル由（會談中先方ヨリ延利不拂ノ前例トシテ頻リニ英

佛借款ヲ持チ出シ來レルモ貴大臣發支宛電報第三一七號

整理案ヲ督促セル處兩人ハ全然非公式ナル提案トシテ

（但シ中村ハ前日モ兩人ト會見シ居レハ張及朱ハ曾仲鳴ト打合ノ上本提案ニ及ヒタルモノナルヘシ）（延滯利息ハ認メス（理由トシテ英法ヲ持出シ來レル由（）年利ハ半分即チ二分五厘トセラレ度シ（）元金ニ對シ年三十萬圓ヲ支拂フヘシト述ヘタルニ付中村ヨリ種々反駁交渉ノ結果（）ニ付テハ年六十五、六萬圓ヲ支出シ結局利息ニ對スル支拂額ヲ加ヘ計八十五、六萬圓ヲ提供方考慮スヘシト言フ所迄漕付ケ一旦會見ヲ終レル由ナリ

三、尙冒頭往電「正金側整理案」ニ付テハ中村ハ當時何等言及セサリシ由ニテ差當リ專ラ支那側ノ出方ヲ見テ應酬誘導ニ努ムヘキ旨充分承知シ居ル次第ニ付右ニ御了承相成度シ（貴電第一八三號參照）

支ニ轉電シ北平ニ暗送セリ

末段ノ次第モアリ本官等ヨリ前以テ中村ニ申聞ケ置キタルニ付同人ヨリハ輕ク聞キ流スニ止メタル趣ナリ

二、依テ直接曾仲鳴ニ正金ハ公募條件改訂ニ承諾ヲ與フル筋合ニ非ス從テ中村ノ有シ居ル命令ニハ何等ノ「ラチチユード」無キ所以ヲ今一應強ク「インプレス」スルコト必要ナリト認メラレタルニ付二十五日（午後）中村ヲシテ曾ト再會見セシメタル處會ハ鐵道部ヨリ正式書面ヲ正金ニ送リ正金カ公債所持人ノ委任ヲ受クルニ便ナラシムルコトモ本件話合ヲ纏ムルニ好都合ナリト思考スト述ヘタルモ中村ヨリハ何等「コンミット」スルコトヲ避ケ正金側主張ヲ繰返シテ充分研究方申入レ置キタル由ナリ尙本件話合再開ハ先方都合モアリ來年早々ト成ルヘシト存セラル

支ヘ轉電シ北平ヘ暗送セリ

~~~~~